

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

英語科「英語コミュニケーションⅡ（2年普通科特進選抜コース）」	単位数	4単位	学科	普通科
	学年	2年	組	H・I組

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	読解力、リスニング力、スピーキング力の向上を目指す。
-------	----------------------------

育成する資質能力	自律・思考力・判断力・表現力
----------	----------------

学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」
------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	・ 基盤となる知識を習得しているか。	・ 知識を活用することができるか。	・ 課題に取り組み成果を出せるか。
評価方法	・ 定期考査約90% ・ 全校一斉英単語テスト約10%	・ 定期考査約50% ・ 授業内評価約50%	課題100%
配分	約40%	約50%	約10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第1学期	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 1 Cultures around the World Lesson 2 Power of Words Lesson 3 Preconception 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読む。 平易な英語で書かれた短いスピーチを読む 	言語材料 仮目的語－真目的語／対応する能動態を持たない受動文／複合関係代名詞／助動詞 be to／付帯状況の with / the 比較級～, the 比較級…
第2学期	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 4 The Century of War Lesson 5 How Our Minds Work Lesson 6 IT and Life 	<ul style="list-style-type: none"> 平易な英語で書かれた短い物語文を読む 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読む。 	言語材料 さまざまな分詞構文／完了形の受動態／強調構文（分裂文）／助動詞 +have+過去分詞／倒置／関係副詞非制限用法
第3学期	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 7 Advances in Medical Technology Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事柄について比較的平易な英語で書かれた短い説明文を読む。 	言語材料 同格名詞節／未来進行形／what を用いた強調／複合関係副詞

使用教科書	啓林館『ELEMENTⅡ』
-------	---------------

副教材	<ul style="list-style-type: none"> 啓林館『ELEMENT English Communication I ワークブック（スタンダード）』 数研出版『Take Pleasure+CD』 駿台文庫『システム英単語+CD』 いっずな書店『Evergreen』
-----	--

3 担当者からのメッセージ

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・授業・復習のサイクルをしっかりと確立させましょう。3つのステップを1つ1つ確実に踏むことが定着のカギになります。 ・反復練習を根気強く何度も行いましょう。英語という言語の習得には「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」といろいろな形で触れることが不可欠です（オモテ二技能を習得する上でも「聞く」と「話す」の訓練は不可欠です）。 ・教科書を使った勉強だけにとらわれず、様々なことに興味・関心を持ち、日頃から広くアンテナを張って下さい。「知りたい」、「理解したい」、「できるようになりたい」という気持ちを大切にしてほしいと思います。 ・「英語ができればそれでよい」だとか「点数が取ればそれでよい」…なんてつまらない考え方なんでしょう！！
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予習をした状態で授業を受けて下さい。ただ機械的に座って授業を「聞く」のではなく、予習をして疑問に思ったところや分からないところ、関心を持ったことを「聴く」姿勢で授業に臨んでください。もちろん積極的な質問は大歓迎です。 ・辞書を必ず持参して下さい。できれば紙の辞書がベターです。また、授業で必ず使う教材も毎回忘れずに準備をしてきましょう。 ・私語・居眠り・周囲の人に迷惑をかけることは当然認められません。授業は生徒だけのものでも教員だけのものでもありませんから、お互いに学びのある授業にしましょう。
<p>その他のアドバイス</p>	<p>「英語を学ぶ」ことだけに重きを置くのではなく、「英語から学ぶ」ことも増やしてください。もちろんそこでは英語以外の教科（理科や社会）の知識が必要になる場合があります。教科を横断したダイナミックな学習ができるのが英語の「楽しさ」の1つです。1年間の授業を通してその「楽しさ」を存分に味わってほしいと思っています。教科書にある単語をただ追いかけるのではなく、内容に触れ、社会問題について考えたりと、一步踏み込んだ学習をしていきます。尚、物事には順序というものがあります。四技能が大切であることは間違いありませんが、いきなり全てを向上させようとしてもそれは無理。当面は、「四技能以前」のことをしっかりやり、まずは「オモテ二技能」をしっかり伸ばしましょう。最後に…シラバス通りに進むかはわかりません。本質を理解するには脇道にそれること（さらには脇道の脇道にそれること）が大切だからです。</p>